

新 公 会 計 N E W S

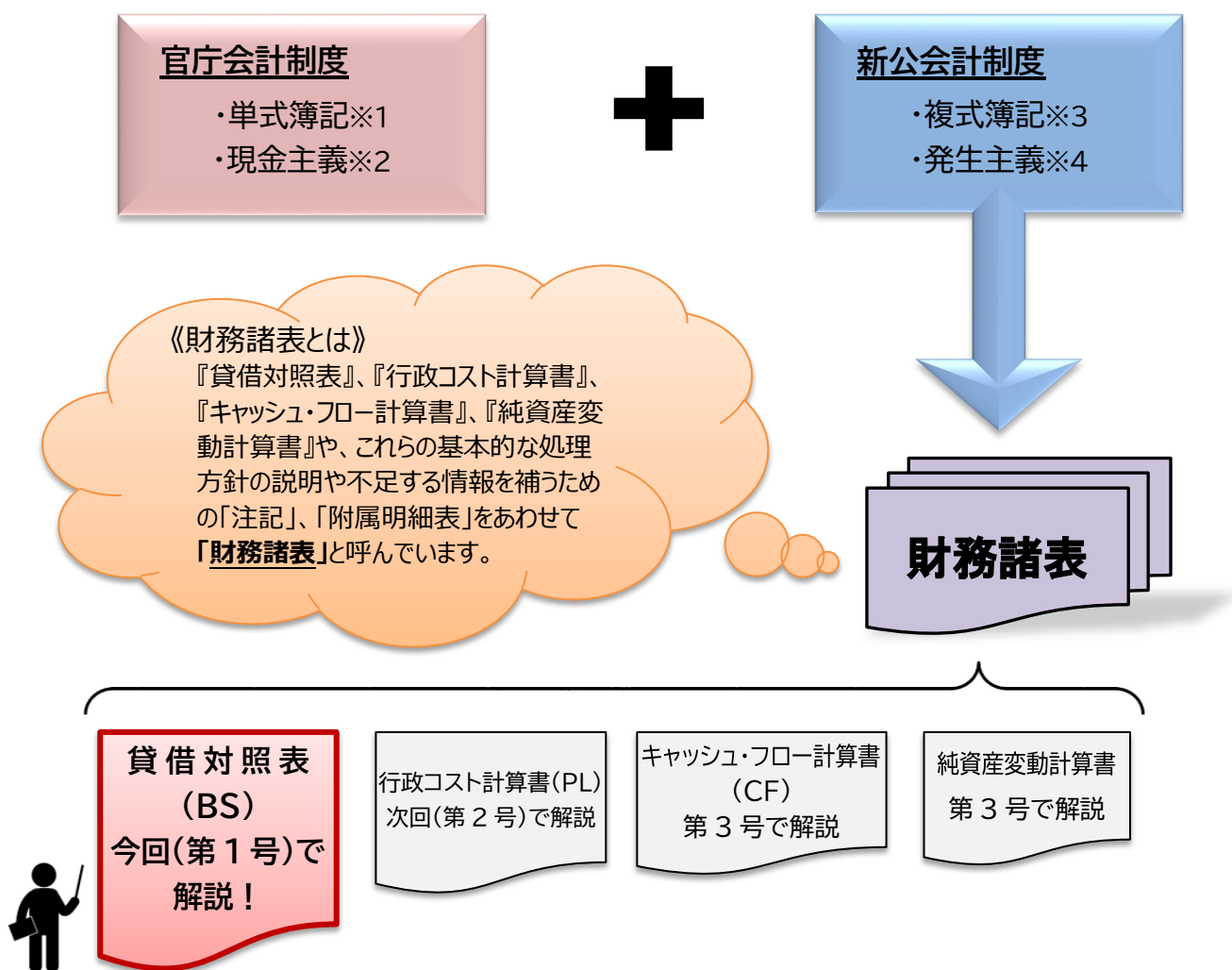
～大阪府の財務諸表をわかりやすく！～ <<第1号>>

〇はじめに

大阪府では、平成23年度決算より、従来の官庁会計の仕組みに複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた新公会計制度を導入し、日々の仕訳入力に基づく財務諸表を作成しています。

『新公会計 NEWS』では、令和3年度の財務諸表の内容を中心に、府民のみなさまに大阪府の財務諸表の概要を数回にわたり、わかりやすくお伝えします。

〇大阪府の会計制度



- ※1 一つの取引について、現金の収支のみを記録する簿記手法のこと。
- ※2 現金の収支の事実により、記録する考え方のこと。
- ※3 一つの取引について、二つの側面に捉え記録する簿記手法のこと。
- ※4 現金の収支にかかわらず、取引発生の実実に基づき、費用や収益を計上する考え方のこと。

今回（第1号）は、『貸借対照表』について説明します。『貸借対照表』は財務諸表の作成基準日（年度末）における「資産」や「負債」、「純資産」の状況を明らかにするための計算書です。

貸借対照表(バランスシート)の構成

「資産」とは、所有している財産（お金と物）と権利（債権）です。
流動資産と固定資産に分けて表示しています。

資産の部

負債の部

「負債」というのは、「返さなければならない借金の状態」を表します。
流動負債と固定負債に分けて表示しています。

純資産の部

「純資産」とは、資産の総額から負債の総額を引いたものです。

「現在までの世代が負担してきた金額」に相当します。

貸借対照表
(令和4年3月31日現在)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)	科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)
資産の部				負債の部			
I 流動資産	754,975	516,102	238,873	I 流動負債	723,455	629,621	93,834
現金預金	112,301	116,624	▲ 4,324	地方債	629,621	—	629,621
歳計現金等	73,236	82,103	▲ 8,867	短期借入金	—	—	—
歳入歳出外現金	39,064	34,521	4,543	他会計借入金	—	—	—
未収金	29,763	39,213	▲ 9,449	その他短期借入金	—	—	—
税未収金	12,625	19,656	▲ 7,031	賞与等引当金	45,629	47,803	▲ 2,173
その他未収金	16,738	19,556	▲ 2,818	未払金	—	—	—
不納欠損引当金	▲ 10,196	▲ 13,430	3,234	支払保証債務	—	—	—
基金	547,431	299,637	247,794	その他未払金	—	—	—
財政調整基金	367,907	170,620	197,287	還付未済金	2,371	2,503	▲ 133
減債基金	179,525	129,017	50,507	リース債務	12,213	10,523	1,690
短期貸付金	9,803	11,818	▲ 1,014	その他流動負債	33,621	28,728	4,893
貸倒引当金	▲ 132	▲ 190	58	II 固定負債	5,776,349	5,707,047	69,302
その他流動資産	55,405	62,431	2,974	地方債	5,381,273	5,314,463	66,810
II 固定資産	6,972,345	6,888,094	84,251	長期借入金	—	—	—
事業用資産	2,169,076	2,116,337	▲ 10,262	他会計借入金	—	—	—
有形固定資産	2,102,560	2,112,821	▲ 10,261	その他長期借入金	—	—	—
土地	1,184,076	1,184,604	▲ 527	退職手当引当金	351,328	357,145	▲ 5,817
建物	814,188	820,204	▲ 6,016	その他引当金	—	—	—
工作物	103,876	107,617	▲ 3,741	リース債務	28,280	21,645	6,635
立木竹	363	368	▲ 5	その他固定負債	15,468	13,794	1,674
船舶	0	0	—	負債の部合計	6,499,803	6,350,683	149,120
浮標等	56	28	28	純資産の部			
航空機	0	0	—	純資産	1,227,516	1,053,513	174,003
無形固定資産	3,516	3,517	▲ 1	(うち当期純資産増減額)	174,003	58,007	115,996
地上権	295	296	▲ 1				
特許権等	3,221	3,221	0				
インフラ資産	3,081,524	3,101,485	▲ 19,961				
有形固定資産	3,081,497	3,101,460	▲ 19,963				
土地	1,542,035	1,535,826	6,209				
建物	5,425	5,737	▲ 312				
工作物	1,534,037	1,559,897	▲ 25,860				
無形固定資産	28	26	2				
地上権	28	26	2				
特許権等	—	—	—				
重要物品	7,891	6,485	1,405				
図書	8,606	8,494	112				
リース資産	40,338	31,984	8,354				
ソフトウェア	4,700	4,202	498				
建設仮勘定	194,723	170,775	23,948				
投資その他の資産	1,528,488	1,448,332	80,156				
出資金	538,559	533,082	5,477				
法人等出資金	486,095	486,046	49				
公営企業会計出資金	52,464	47,036	5,428				
長期貸付金	198,568	198,511	57				
貸倒引当金	▲ 1,652	▲ 1,656	5				
基金	783,781	706,236	77,545				
減債基金	649,047	566,657	82,390				
減債基金借入金	—	—	—				
その他の基金	134,734	139,578	▲ 4,844				
その他基金借入金	—	—	—				
その他債権	9,231	12,159	▲ 2,928				
資産の部合計	7,727,320	7,404,196	323,124	負債及び純資産の部合計	7,727,320	7,404,196	323,124

P3で解説

P4で解説

はじめに、「貸借対照表」の「資産の部」について説明します。

※四捨五入のため、表内の合計等が一致しないことがあります。

(単位：億円)

流動資産

- ① 「**流動資産**」は、1年以内に現金化することができる資産です。
(令和2年度に比べ2,389億円増)
- ② 「**未収金**」は、収入すべき額のうち、まだ収入されていない額です。税未収金・その他未収金があります。(令和2年度に比べ98億円減)
- ③ 「**不納欠損引当金**」は、未収金のうち、回収不能と見込まれる見積り金額です。
- ④ 「**基金(流動資産)**」は、財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のための資金を積立てるもので、いわゆる家計における預貯金に相当するものです。(令和2年度に比べ2,478億円増)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)
①流動資産	7,550	5,161	2,389
現金預金	1,123	1,166	▲ 43
②未収金	294	392	▲ 98
③不納欠損引当金	▲ 102	▲ 134	32
④基金	5,474	2,996	2,478
その他	761	741	20
⑤固定資産	69,723	68,881	843
⑥事業用資産	21,061	21,163	▲ 103
⑦インフラ資産	30,815	31,015	▲ 200
⑧建設仮勘定	1,947	1,708	239
⑨投資その他の資産	15,285	14,483	802
その他	615	512	104
⑩資産の部合計	77,273	74,042	3,231

固定資産

- ⑤ 「**固定資産**」は、長期にわたり保有する資産です。土地・建物・工作物などがこれに当てはまります。
(令和2年度に比べ843億円増)
- ⑥ 「**事業用資産**」は、府庁舎や学校などで、公共用に使用する資産のうち道路や港湾などの「インフラ資産を除く資産」です。「有形固定資産(土地や建物など)」と「無形固定資産(特許権など)」があります。(令和2年度に比べ103億円減)
- ⑦ 「**インフラ資産**」は、道路・港湾・農道等の産業や生活の基盤となる資産です。(令和2年度に比べ200億円減)
- ⑧ 「**建設仮勘定**」は、建物・工作物などの固定資産を取得する場合における諸費用について、その資産が完成するまでの間、計上するものです。(令和2年度に比べ239億円増)
- ⑨ 「**投資その他の資産**」は、法人等や公営企業会計への「出資金」、翌々年度以降に償還が見込まれる貸付金や、※減債基金などの基金です。(令和2年度に比べ802億円増)

資産の部合計

⑩大阪府の「資産」の合計は、**7兆7,273億円**です。(令和2年度に比べ3,231億円増)

※減債基金・・・府の借金である府債の返済に備え、満期日が来るまでの間お金を貯めておく「財布」にあたるもの。

続いて、「負債の部」と「純資産の部」について説明します。

※四捨五入のため、表内の合計等が一致しないことがあります。

(単位：億円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)
①流動負債	7,235	6,436	798
②地方債	6,296	5,541	755
③賞与等引当金	456	478	▲ 22
その他	482	418	64
④固定負債	57,763	57,070	693
⑤地方債	53,813	53,145	668
⑥退職手当引当金	3,513	3,571	▲ 58
その他	437	354	83
⑦負債の部合計	64,998	63,507	1,491
純資産の部	12,275	10,535	1,740
⑧純資産	12,275	10,535	1,740
(うち当期純資産増減額)	(1,740)	(580)	(1160)
負債及び純資産の部合計	77,273	74,042	3,231

流動負債

- ①「流動負債」は、1年以内に支払時期が到来する負債です。(令和2年度に比べ798億円増)
- ②「地方債(流動負債)」は、施設の建設や改修等のために発行した地方債のうち、翌年度に償還予定のものです。(令和2年度に比べ755億円増)
- ③「賞与等引当金」は、翌年度に支払予定の期末手当及び勤労手当見込額並びにこれらに係る法定福利費支給見込額のうち、当期の負担相当額を計上しています。(令和2年度に比べ22億円減)

固定負債

- ④「固定負債」は、1年を超えて支払時期が到来する負債です。(令和2年度に比べ693億円増)
- ⑤「地方債(固定負債)」は、翌々年度以降に償還予定のもので、(令和2年度に比べ668億円増)
- ⑥「退職手当引当金」は、全職員が自己都合により退職した場合に必要な退職手当を計上しています。(令和2年度に比べ58億円減)

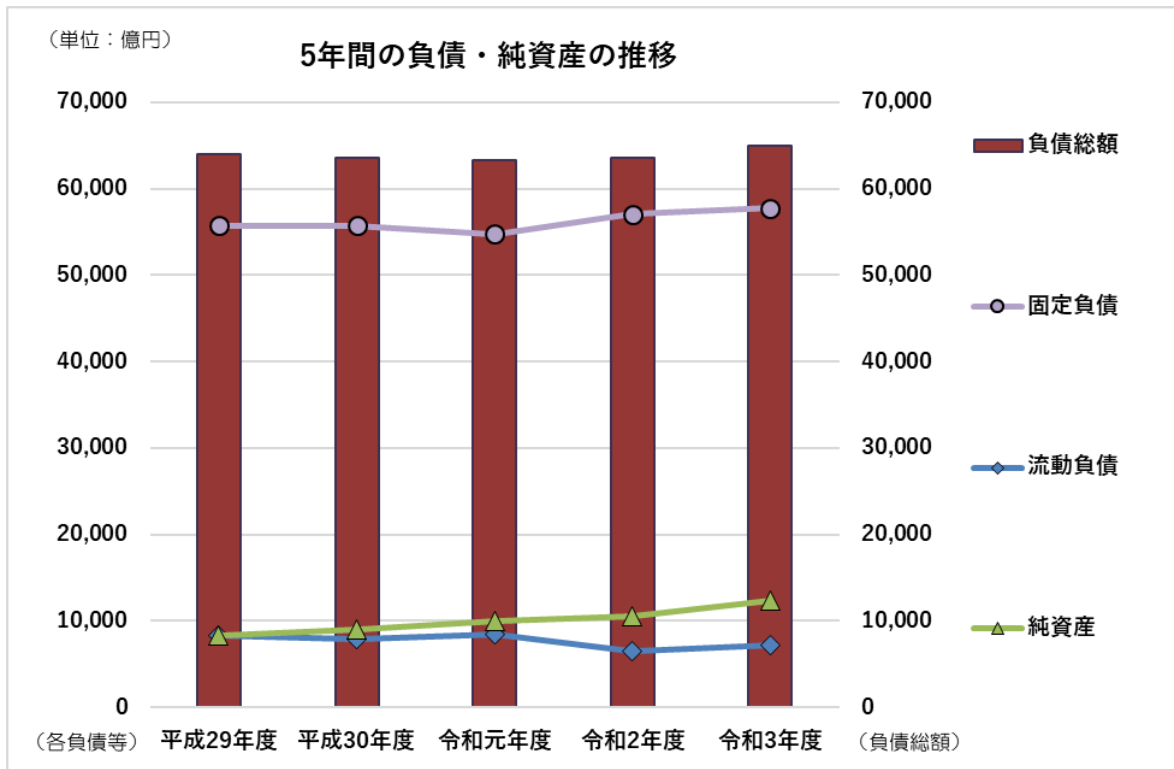
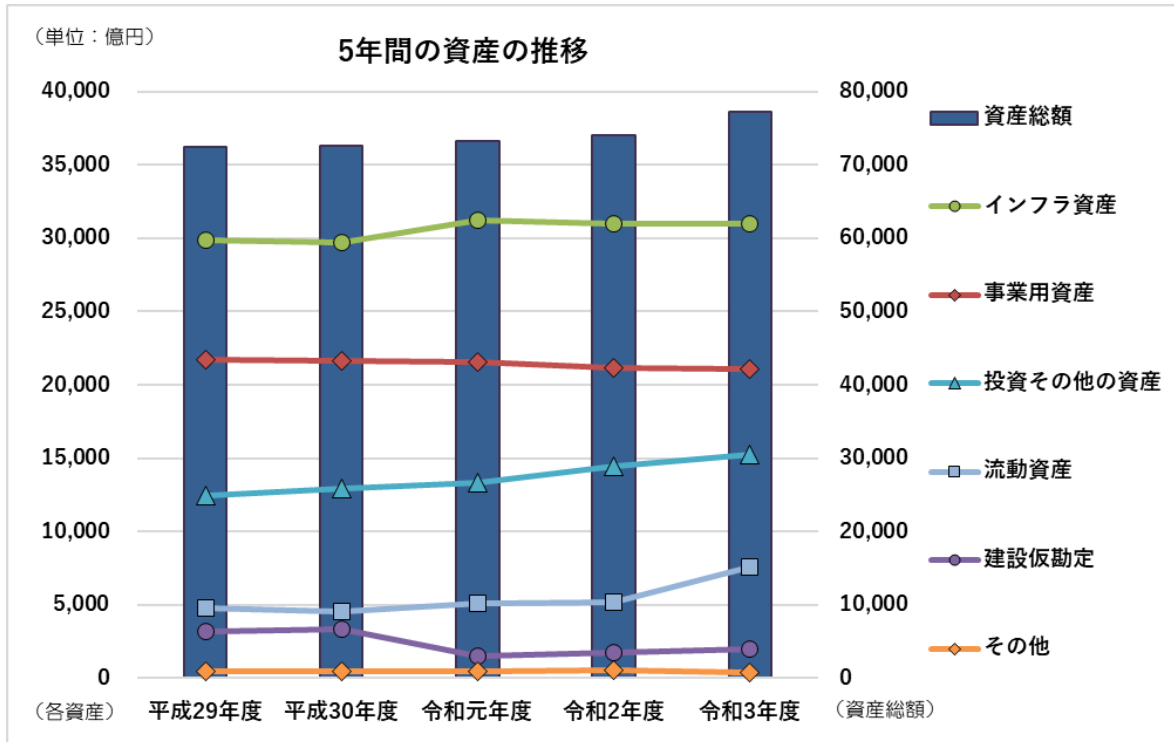
負債の部合計

- ⑦大阪府の「負債」の合計は、6兆4,998億円です。(令和2年度に比べ1,491億円増)

純資産の部

- ⑧大阪府の「純資産」(資産の部合計-負債の部合計)は、1兆2,275億円です。(令和2年度に比べ1,740億円増)

直近5年間の資産・負債・純資産の推移



直近5年間の貸借対照表から資産、負債、純資産の推移を見ていきます。
 資産は、平成29年度から一貫して増加しています。
 負債は、令和元年度まで減少傾向でしたが、令和2年度からは増加に転じています。
 令和3年度の資産総額増加の要因は「基金」の増加、負債総額増加の要因は「地方債」の増加が主なものです。



貸借対照表(バランスシート)の指標

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)	科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	差 (A-B)
資産の部				負債の部			
I 流動資産	754,975	516,102	238,873	I 流動負債	723,455	643,636	79,818
現金預金	112,301	116,624	▲ 4,324	地方債	629,621	554,079	75,542
歳計現金等	73,236	82,103	▲ 8,867	短期借入金	—	—	—
歳入歳出外現金	39,064	34,521	4,543	他会計借入金	—	—	—
未収金	29,363	39,213	▲ 9,849	その他短期借入金	—	—	—
税未収金	12,625	19,656	▲ 7,031	賞与等引当金	45,629	47,803	▲ 2,173
その他未収金	16,738	19,556	▲ 2,818	未払金	—	—	—
不納欠損引当金	▲ 10,196	▲ 13,430	3,234	支払保証債務	—	—	—
基金	547,431	299,637	247,794	その他未払金	—	—	—
財政調整基金	367,907	170,620	197,287	還付未済金	2,371	2,503	▲ 133
減債基金	179,525	129,017	50,507	リース債務	12,213	10,523	1,690
短期貸付金	10,803	11,818	▲ 1,014	その他流動負債	33,621	28,728	4,893
貸倒引当金	▲ 132	▲ 190	58	II 固定負債	5,776,349	5,707,047	69,302
その他流動資産	65,405	62,431	2,974	地方債	5,381,273	5,314,463	66,810
II 固定資産	6,972,345	6,888,094	84,251	長期借入金	—	—	—
事業用資産	2,106,076	2,116,337	▲ 10,262	他会計借入金	—	—	—
有形固定資産	2,102,560	2,112,821	▲ 10,261	その他長期借入金	—	—	—
土地	1,184,076	1,184,604	▲ 527	退職手当引当金	351,328	357,145	▲ 5,817
建物	814,188	820,204	▲ 6,016	その他引当金	—	—	—
工作物	103,876	107,617	▲ 3,741	リース債務	28,280	21,645	6,635
立木竹	363	368	▲ 5	その他固定負債	—	13,794	1,674
船舶	0	0	—	負債の部合計	6,499,803	6,350,683	149,120
浮標等	56	28	28	純資産の部			
航空機	0	0	—	純資産	1,227,516	1,053,513	174,003
無形固定資産	3,516	3,517	▲ 1	(うち当期純資産増減額)	174,003	58,007	115,996
地上権	295	296	▲ 1				
特許権等	3,221	3,221	0				
インフラ資産	3,081,524	3,101,485	▲ 19,961				
有形固定資産	3,081,497	3,101,460	▲ 19,963				
土地	1,542,035	1,535,826	6,209				
建物	5,425	5,737	▲ 312				
工作物	1,534,037	1,559,897	▲ 25,860				
無形固定資産	28	26	2				
地上権	28	26	2				
特許権等	—	—	—				
重要物品	7,891	6,485	1,405				
図書	8,606	8,494	112				
リース資産	40,338	31,984	8,354				
ソフトウェア	4,700	4,202	498				
建設仮勘定	194,723	170,775	23,948				
投資その他の資産	1,528,488	1,448,332	80,156				
出資金	538,559	533,082	5,477				
法人等出資金	486,095	486,046	49				
公営企業会計出資金	52,464	47,036	5,428				
長期貸付金	198,568	198,511	57				
貸倒引当金	▲ 1,652	▲ 1,656	5				
基金	783,781	706,236	77,545				
減債基金	649,047	566,657	82,390				
減債基金借入金	—	—	—				
その他の基金	134,734	139,578	▲ 4,844				
その他基金借入金	—	—	—				
その他債権	9,231	12,159	▲ 2,928	純資産の部合計	1,227,516	1,053,513	174,003
資産の部合計	7,727,320	7,404,196	323,124	負債及び純資産の部合計	7,727,320	7,404,196	323,124

貸借対照表の資産・負債額を大阪府の人口で除することで、府民一人あたりの資産・負債額を見ることができます。

令和3年度決算では、

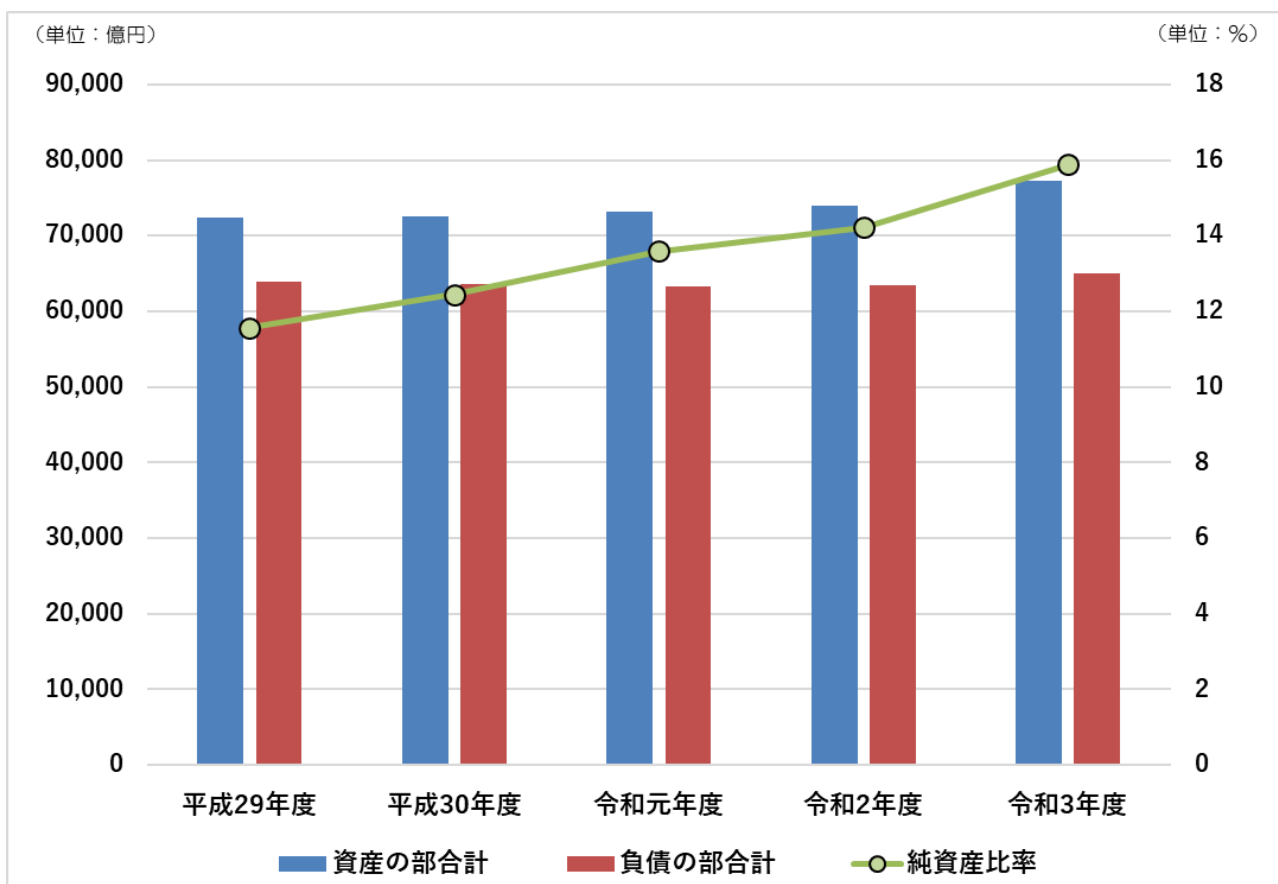
○7,727,320百万円(資産の部合計) / 8,778,035人 ≒ 88万0千円

○6,499,803百万円(負債の部合計) / 8,778,035人 ≒ 74万1千円

府民一人あたり 88万0千円の資産と、74万1千円の負債を持っているということがわかります。

※人口：令和4年4月1日現在(大阪府毎月推計人口)

直近5年間の純資産比率、資産・負債の推移



直近5年間の貸借対照表から純資産比率、資産・負債の推移を見ていきます。
純資産比率は、事業の健全性を評価する際に利用される指標で、総資産に占める純資産の割合を示します。

この数値が高いほど、将来世代の負担が小さいことを表し、**直近5年間は増加しています。**

[新公会計制度による大阪府の財務諸表の掲載は、大阪府ホームページ（カテゴリーからさがす）⇒「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」](#)でご覧いただけます。



次回は、『行政コスト計算書』について説明します！